

## 原文

韓国併合 日本政府は、日本の安全と満州の權益を防衛するために、韓国の併合が必要であると考えた。日露戦争後、日本は韓国に韓国統監府を置いて支配を強めていった。1910(明治43)年、日本は、武力を背景に韓国内の反対をおさえて、併合を断行した(韓国併合)。欧米列強は、イギリスのインド、フランスのインドシナ、アメリカのフィリピン、ロシアの外モンゴルなど、自国の植民地支配を日本が認めるのと引きかえに、日本の韓国併合を認めた。

韓国の国内には、一部に併合を受け入れる声もあったが、民族の独立を失うことへのはげしい抵抗が起こり、その後も、独立回復の運動が根強く行われた。

韓国併合に至る経緯について、誤解するおそれのある表現である。

## 修正文

韓国併合 日露戦争後、日本は韓国に韓国統監府を置いて支配を強めていった。欧米列強は、イギリスのインド、アメリカのフィリピン、ロシアの外モンゴルなど、自国の植民地や勢力圏の支配を日本が認めることなどと引きかえに、日本が韓国を影響下におさめることに異議をとらえなかった。

日本政府は、日本の安全と満州の權益を防衛するために、韓国の併合が必要であると考えた。1910(明治43)年、日本は、武力を背景に韓国内の反対をおさえて、併合を断行した(韓国併合)。

韓国の国内には、民族の独立を失うことへのはげしい抵抗が起こり、その後も、独立回復の運動が根強く行われた。